

教科名 (科目名)	芸術 芸術探究(書道)	履修学年	3年	学科	普通科
		単位数(週当たりの授業時数)		2	単位

◆何ができるようになるか(教科・科目の目標)

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、感性を高め書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、感性を高め書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
評価方法	○学習プリント ○小テスト ○成果物(作品)	○学習プリント ○対話的活動 ○成果物(作品)	○学習プリント ○対話的活動等

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定(概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか(教材等)

『硬筆テキスト(改訂新版)』 参考作品 動画教材
学習プリント

◆どのように学ぶか(授業方法、学習方法)

○教科書と参考作品・動画教材を使って学習を進めます。
○表現領域では、技術習得と表現の工夫とのバランスを図りながら学習します。
○鑑賞領域については表現領域とのバランスを図りながら随時学習します。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学期	4月	オリエンテーション 字の変遷			
	5月	ひらがなの学習 ①楷書の学習	学習プリント 小テスト 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動等
	6月	②行書の学習	学習プリント 小テスト 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動等
	7月	実用の書① 硬筆検定試験			
2 学期	8月				
	9月				
	10月	③草書・隸書・篆書の学習	学習プリント 小テスト 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動等
	11月	実用の書② 作品制作①	学習プリント 成果物	学習プリント 対話的活動 成果物（作品）	学習プリント
	12月	実用の書③			
3 学期	1月	実用の書④	学習プリント 小テスト 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動等
	2月	作品制作②	学習プリント 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動等
	3月				